

代表からのご挨拶

サンライズ・メイト・バート株式会社

代表取締役 井上 明美



いつも皆様方には、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。おだやかな新春をご家族でお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年からコロナの第5波が収束傾向にあり、

ほっと胸を撫でおろしたのもつかの間、世界中が新たな新種オミクロンの脅威にさらされています。人と人の争いなど、未知のウイルスの前には儚いことだと思います。今年こそはマスクの無い平和な世界に戻ることを願ってやみません。まだまだ寒さ厳しき折から、お風邪など召しませんようお気をつけてください。

サンライズの物語

いつか必ず訪れる別れ——

家族の絆について考える物語



その方は、私がケアマネになり立ての頃に出会った素敵な方でした。

息子さんや娘さん達3人と一緒に暮らしており、お母さまの好きなものを毎日作っては喜ぶ笑顔を見るのが生きがいと話される素晴らしいご家族でした。

今年、101歳の誕生日を迎え、ご家族様たちにお祝いをしてもらった時に大好きなお蕎麦を沢山食べたとの話を聞き幸せな気持ちになったものでした。

そんな中10月下旬から食欲が低下してしまい、息子さん達がりんごのすりおろしやアイスクリームを口に運びかいかいしく介護をされていたのでした。何度も危篤状態から復活したこともあり、唯々ご本人の気力を信じ介護していたのです。

亡くなる2日前に私が訪問した時は「私を病院へ連れて行かないでください。ここに居たいの」と何度も訴えていたのです。「どこへも行かせないですよ。大丈夫。心配いらないですよ。」と言うのが精一杯でした。

息子さんから「息が止まってる」という連絡にご自宅へ駆けつけると担当医が来ていて「ご臨終です」とのこと。眠っているような静かな顔でした。

お疲れ様でしたと声をかけたのですが涙が零れて止まらなくなったのです。生まれてきた以上最後は大好きな家族とも別れなければならない・・・

分かってはいても悲しいことです。愛して已まない子供たちとの別れ・・・

子供たちの最後を見届けたいと思うのが親心だと話されていたことを思い出しました。

サンライズのデイサービス陽光だより



ビンゴ大会を開催しました。
ビンゴになった人からプレゼントを
選んでいただきました。
数字が揃ったら大きな声で『ビンゴ!!』と
叫びます！
何が当たるかは開けてからの楽しみ!!
陽光からのクリスマスプレゼントです！



NEWS 今月のニュース

面談再開も…手袋着けパーティションの隙間から母の手握る

新型コロナウイルスで重症化リスクを抱える高齢者が利用する介護施設。感染が落ち着いてきた初冬以降は入所者を癒やそうと、家族との面会を再開し、季節行事を企画する施設も出てきた。だが、オミクロン株への懸念が広がり、再び緊張感が高まっている。

「元気そうで良かった」。特別養護老人ホーム「花の森」(神戸市垂水区)。12月中旬、入所者の原須知江(すちえ)さん(98)に長女の本真規(もとまき)さん(70)が呼び掛けた。

2人の間には飛沫(ひまつ)を防ぐ透明のパーティションがある。少しでもぬくもりを感じたいと、本さんはホームの許可を得て手袋を着け、パーティションの隙間から母の手を握った。

認知症がある原さんは「困ったわ」とこぼす。本さんは「大丈夫よ。

心配ない」と繰り返し、「お手々もあったかいわ。カブのスープを作って持ってきたから食べてね」と励ました。

コロナが流行し始めた昨春以降、同ホームは面会を原則禁止し、施設の携帯電話で家族と通信できるようにした。感染の落ち着きを受け、今年11月からパーティション越しに会うことを月1回、認めた。

しかし、オミクロン株が拡大し、感染者が出れば再び面会そのものができなくなる。毎日の予防策は欠かせない。ドアノブやエレベーターのボタンなど、多くの人が触れる場所を念入りに消毒。換気もおおむね1時間おきに数分間行い、窓を開ける前に何か羽織るよう入所者に促すなど、寒さを我慢してもらっている。

訪問者が書く健康チェックの項目に、ワクチン接種歴を追加した。長友幹夫施設長(40)は「入所者と家族が表情を確かめながら語り合う。そんな穏やかな日常を取り戻すため、対策は怠らない」と気を引き締める。

クラスター(感染者集団)が発生した認知症グループホーム「神港園レインボー西宮」(西宮市)は今春からビデオ通話での面会を採り入れてきたが、11月末に対面を再開した。時間は30分程度が目安だ。

「年末にやっと実現した。家族も直接伝えたいことがたくさんあったようで、とても喜んでいる」と金谷泰明施設長(62)。それでも「外出はまだ。早く収まり、初詣がまたできるようになれば」と願う。



同じ部屋でパーティション越しに面会する入所者と家族。感染が落ち着き、措置が緩和された＝神戸市垂水区名谷町、花の森

<神戸新聞NEXT2021/12/24(金)>

広報誌「ライジング・サン」のバックナンバーは、弊社ホームページでもご覧いただけます。

ぜひお立ち寄り下さいませ。 <http://www.samaba.jp/back-number/>